

令和6年10月定例教育委員会会議録

○日 時 令和6年10月24日(木) 午後3時00分～午後3時35分

○場 所 櫛引庁舎 3階 教育委員室

○出席委員 教育長 布川 敦

1番 百瀬 克浩(教育長職務代理者)

2番 清野 康子

3番 中村 公俊

4番 齋藤 美緒

○欠席委員 なし

○出席議事説明職員氏名

教育部長	永壽 祥司	参事兼管理課長	清野 健
管理課主幹	伊藤 智康	学校教育課長	今野 新一
学校教育課指導主幹	落合 正幸	社会教育課長	沼沢 紀恵
社会教育課文化主幹	五十嵐 依久子	参事兼スポーツ課長	阿部 三成
中央公民館長	観世 安司	図書館長	五十嵐 恭子
給食センター所長	小林 尚志		

○出席事務局職員氏名

管理課課長補佐 上野 美嘉

【会議次第】

1 開会

2 市民憲章唱和

3 会議録署名委員の指名

4 議事

日程第1 議第24号 第67回(令和6年度)高山樗牛賞及び高山樗牛奨励賞について
(非公開)

5 報告事項

(1) 臨時代理処理事項の報告について(非公開)

(2) 藤島地域小中学校整備検討の進捗について

(3) 朗読会〈藤沢周平の世界『龍を見た男』〉及び館内朗読会について

(4) 鶴岡市立図書館・鶴岡市郷土資料館要覧の発行について

(5) その他

6 閉会

開 会 (午後3時)

教育長 ただいまから10月の定例教育委員会を開会する。はじめに市民憲章唱和を行う。

(スポーツ課長が先唱し市民憲章唱和)

教育長 本日の会議録署名委員は、3番委員に願います。

それでは議事に入る。本日の日程第1と報告事項(1)は人事案件のため、非公開とすることにご異議はないか。

各委員 異議なし。

教育長 異議なしと認め、これより非公開とする。

(会議録は別記録とする)

教育長 次に、報告事項(2)について、事務局より報告をお願いします。

管理課主幹 昨月の定例教育委員会以降の、各小学校区懇談会での議論と、2回目の整備検討委員会の状況について報告する。

まず、藤島小学校区懇談会の2回目が、9月26日に開催され、その回で終了となった。特に新しいような主な意見としては、校長には情熱がある方を選定してほしい、子どもの意見を聞いてほしい、長沼小では地域の反対がありながら統合したが、今は良かったと思う、といった意見をいただいた。

藤島小学校区懇談会の結果として、義務教育学校の整備に賛成であることと、附帯意見としては、5点、節目行事や伝統行事へ配慮してほしいこと、より良い教育環境とするため適切な体制を整えてほしいこと、文厚エリアを一体的に検討し将来像を示すこと、関係者の意見を聞き、不安の解消や課題解決に努めること、学校施設整備の早期取組、とまとめられた。

東栄小学校区懇談会は、10月16日に2回目が開催され、その回で終了となった。東栄小学校区では、この開催前、10月8日に明倫学園への視察を行った。東栄小学校区で出された主な意見は、4・3・2制への対応など、先生方が大変そうだ、小中が一緒になると地域の魅力が失われるのではないかと、整備に早期に取組んでほしい、整備後の課題に対応することが重要だ、保護者アンケートでは約7割が賛成で、反対の方も統合は賛成だが、小中が一緒になることに反対だという方が多い、節目行事を大切にしてほしい、教員のレベルアップを図り教育の内容を良くしてほしい、地域は学校が中心に賑わうものだ、子どもは地域で育てるべきだ、施設改築前の統合を望む、伝統行事の継承をしっかりとしてほしい、スクールバスの運行への配慮、といった意見をいただいた。

東栄小学校区懇談会の結果としては、義務教育学校の整備に賛成であることが決定され、附帯意見については、現在整理中である。

次に渡前小学校区懇談会は、2回目が9月28日、3回目が10月12日に開催され、終了している。2回目の主な意見としては、なるべく早く進めてほしい、いじめ対応への十分なサポート、フォローを望む、特別支援教育への成果が期待できる、節目行事や、通学のこと、スクールバスは、乗車時間30分以内を目途にしてほしい、建物の整備前に小学校統合を検討してほしい、PTAアンケートでは、義務教育学校に賛成が多数であったこと、スポ少保護者へのアンケートでは、併設型小中学校を望む声があったこと、学校施設の複合化の検討、地域の方が学校に出入りできるように、といったご意見が出された。この2回目で、義務教育学校の整備に賛成であることが決定され、整備検討委員会に中間報告がなされた。

3回目では、教科担任制を進めてほしい、文厚エリアの諸施設の動線の確保に関すること、鶴岡型小中一貫教育は、全市で足並みをそろえて進めてほしい、改築前の統合を進めてほしい、その際は、3つの小学校が同じスタートラインで進めてほしい、といったご意見が出されている。

この3回目で協議を終了し、附帯意見について現在整理中となっているが、渡前小学校区懇談会では、改築前の小学校の統合のことについて、附帯意見に加えることとされている。

藤島、渡前小学校区懇談会からは、2回目が終了した時点で備検討委員会に報告があり、これを受け、10月11日に第2回整備検討委員会を開催し、藤島、渡前小学校区から義務教育学校の整備に賛成である旨が報告された。

まずは、3つの小学校区の地域の意向として、義務教育学校の整備について賛成であることがまとまったので、11月中旬開催予定の3回目の整備検討委員会で、教育委員会への報告内容をご議論いただきたいと考えている。

また、その後、11月25日（月）開催予定の総合教育会議での意見交換を経て、12月の定例教育委員会で、整備方針を議決いただきたいと考えている。

ただいまの報告について、質問、意見等はないか。

東栄小学校区で明倫学園に視察に行かれたというのは、この小学校区の方たち皆さんが行かれたのか。

また、東栄小学校区からの主な意見で保護者アンケートの7割が賛成であったが、反対の中でも統合には賛成だが小中学校が一緒になることに反対という意見が多かったということであったが、この意見の理由が挙げられていたら、教えていただきたい。

教育長
1番委員

管理課主幹 まず1点目の視察に行かれた方については、東栄小学校区で募集したが、渡前小学校区の懇談会に、東栄の会長が傍聴でいらしており、その場で渡前の方にも声を掛け、渡前から3名の方が参加した。合計の人数は正確には把握していないが20名程度と思う。

次に、保護者アンケートで、統合は賛成だが小中一緒になることに反対の理由については、アンケート回答には記載されなかった。小学校の統合は賛成だけれども、小中4校が一体型になることに反対であったということだと思う。

1 番委員 もう1点、その視察の結果を、行かれた方たちの受けた感想などを保護者の方にお知らせするような機会はあるのか。

管理課主幹 東栄小学校区なので東栄自治会で主催したもの、感想などを住民の方々にお知らせする機会というのは今のところ把握していない。

東栄小学校区懇談会の中で、視察に行っていない方から、視察した感想を聞きたいとの声があり、行かれた方々から、よかったなどの感想は出ていた。この内容について、住民の方々へどのように情報提供されるかは把握していない。

2 番委員 視察に行かれた方たちの年齢構成はどうであったか。これから小学校に入る子の保護者、今小中学校に子どもがいる保護者、子育てが終わった世代、それぞれで違った感じ方があると思われる。日中であったので、働いている方はなかなか行きづらかったと思うが。

管理課主幹 保護者の方も何名かは行かれたようだが、自治会の方、町内会の方が多いようであった。

4 番委員 私は、教育委員として小中一貫の義務教育学校を色々視察させてもらった。先日も視察し、1年生から9年生までが一緒に過ごすことの意味やメリットを感じて帰ってきた。しかし、それを知らなければ、反対意見や、統合には賛成だけど小中学校が一緒になることには反対だという意見が多くいるということだが、知らないものを想像するときは、怖いもののように想像してしまう。

アンケートで、いじめが起きるのではないかという意見もあったので、視察に行っていない方たちにも、視察した方の感想や意見をお知らせしたり、そのような方たちが視察に行けるような機会が作れるかは分からないが、知る機会がもっとあれば、このような人たちに良さが伝わるのではないかと思ったところである。

管理課主幹 これから藤島地域を対象にチラシの発行を考えている。初めは、これまでの経過や一貫校と一貫教育の違いなどを記載し、回を重ねて、住民の方へ情報を出していきたいと考えているので、その際に、メリットや心配な点なども提供しながら、住民の方々との協議を進めていきたい。

- 1 番委員 ぜひおたよりなどに視察された方の感想などを盛り込んで伝えていければよいのではないか。住民や保護者の方々に魅力が浸透していくような手だてを考えながら進めないと、知らない人がいつまでも知らないままでは、アンケートなども深まらず、一向に変わらないのではないか。誘導するのではなく、いい面も課題となる部分もあると思うが、それを踏まえた上で保護者の方が判断できるような関係作りを、手間だと思いがほしい。
- 2 番委員 視察に行ったときに、9年生が1、2年生に掃除の指導をしていた場面があった。また、先生の代わりにパソコンを教える場面もあったと思う。それが、いじめが心配だという方への直接の答えになるかは分からないが、写真などを載せて、こういうことが9年生には出来るということをお知らせするのもよいと思う。
- 教育長 写真の掲載については、施設関係はよいが、子どもの顔や名前がわかるものは載せないよう慎重にしなければならない。
- 2 番委員 写真でなく言葉でもよいので、先進校ではこういう事例もあるということ載せて伝えられれば、少しは不安の解消に繋がるのではないか。
- 管理課主幹 我々も住民の方々から理解をいただいて進めることが重要だと考えているので、今回教育委員会でも視察を行っているので載せていけるよう進めたい。
- 教育長 第1号、第2号と情報を伝えていく。視察も我々だけでなく実際に地域の方々も行かれていたので、その声を拾って掲載していくなど、いい面も悪い面も両方載せていく必要があると思う。ぜひよろしくおもしろい。
- ほかに、ご質問、ご意見等はあるか。なければ次に、報告事項（3）について、事務局より報告をお願いします。
- 社会教育課長 最初に朗読会について報告する。こちらは平成22年の開館時から行ってきたものであるが、昨年度は俳優の篠田三郎氏にお願いし開催した。今年度は2年ぶりに山形放送アナウンサー青山友紀氏にお願いし、朗読会「藤沢周平の世界『龍を見た男』」を開催する。定員200人で、11月号の広報などで周知を行う。おととしの青山氏を迎えての開催時には300人を超す申込みがあり抽選となった。大変好評をいただいているものである。
- 次に、館内朗読会について報告する。平成24年度から冬期間の来館を増やすことを目的に、館内朗読会を開催している。この度は、11月23日（土）、12月14日（土）に「『獄医立花登手控え』を聴く」として、劇団妻の会OGの方におもしろい開催する。
- 教育長 ただいまの報告についてご質問、ご意見等はあるか。
- なければ次に、報告事項（4）について、事務局より報告をお願いします。

図書館長

10月に令和6年度の図書館・郷土資料館の要覧を発行したので報告する。毎年発行しているもので、データの経年変化が分かる資料であるのでご覧いただきたい。

図書館利用状況の推移について、令和3から令和5年度の推移を記載している。コロナ禍明けで、入館者数が徐々に戻ってきている。また昨年度図書館がクーリングシェルターに指定され来館者が非常に増えた。

貸出利用冊数は、令和4年と5年を比較し13,000冊ほど減となっており、原因については分析中である。年代別に見ると13歳から50歳ぐらいまでの、現役から中学生ぐらいの世代の利用が減る傾向にある。今回の新館構想の課題の整理の中でも、こちらの方向けにはどういった取り組みをしていかなければならないかといったことも含めて検討している。

教育長

ただいまの報告についてご質問、ご意見等はあるか。

逆に言えば、クーリングシェルターとしての利用があったということ。その際、本も借りていただければ一番よかったと思う。

移動図書館の団体貸出の冊数が減っているというのは、学校で借りる冊数が減っているのか、それともほかに原因があるのか。

図書館長

年度ごとに訪問先が変わっていることが原因だと考えられる。調整しつつ募集をかけてルートを組むほか、臨時運行なども適宜実施し鋭意努力して参りたい。

教育長

他に何か、ご質問、ご意見等はあるか。

なければ、他に報告事項はないか。

なければこれをもって10月の定例教育委員会を終了する。

閉 会 (午後3時35分)